

翻字翻訳『新刊清文指要』(26)

竹越 孝

[承前]

<第99話>

- 99-1* simbe tuwaci.
君を 見ると
看起你来(下62a5)
- 99-2 arki nure de hon haji.
烧酎 黄酒 に 大変 親しい
燒 黄 酒 上 狠 親 (下 62a5)
- 99-3 dartai andande seme aljabuci ojarahū.
少しの 間 とて 離れること できない
一 會 兒 離 不 得 (下 62a5-6)
- 99-4 yumpi dosikabi.
耽溺し 没頭している
深 貪 進 去 了 (下 62a6)
- 99-5 omihadari.
飲むたびに
每 逢 喝 (下 62a6)
- 99-6 urui lalanji heperefi.
いつも ぐったり 酔いつぶれ
必 定 要 濫 醉 如 泥 (下 62a6)
- 99-7 ilime toktorakū oho manggi.
立って 定まらなくなった 後で
站 不 住 脚 了 (下 62a7)
- 99-8 teni nakambi.
やっと やめる
纔 止 住 (下 62a7)
- 99-9 sain baita waka kai.
良い 事 でないぞ
不 是 好 事 啊 (下 62a7)
- 99-10 majige targaha de sain.
少し 戒めた ら 良い
畧 戒 一 戒 好 (下 62b1)

- 99-11 sarin yengsi de oci ai hendure.
 宴 席 になれば何 言う
 筵席上説什嗎 (下 62b1)
- 99-12 baita sita bici.
 用 事 あれば
 有事時 (下 62b2)
- 99-13 saligan i omiha de aibi.
 見積もり で 飲んだ として 何がある
 量着些喝有什嗎 (下 62b2)
- 99-14 baita akū de terebe baita obufi.
 事 ない 時 それを 仕事 として
 没事的時侯拿他為事 (下 62b2-3)
- 99-15 hūntahan jafašahai angga ci hokoburakū omici.
 杯 握ったまま 口 から 離さず 飲めば
 拿着鐘子不離嘴的喝 (下 62b3-4)
- 99-16 ai sain ba banjinara.
 何 良い 所 生じる
 生出什広好處來 (下 62b4)
- 99-17 damu unggga dangga de waka baha.
 ただ 長 老 に非礼 招いた
 就只看見得罪了長上 (下 62b4-5)
- 99-18 amba jobolon necihe.
 大きな 災い 犯した
 惹了大禍 (下 62b5)
- 99-19 oyonggo baita sartabuha be sabuha dabala.
 重要な 事 遅らせたの を 見た だけだ
 耽悞要緊的事罷咧 (下 62b5-6)
- 99-20 umai omiha amala tenteke bengsen taciha.
 全く 飲んだ 後に あのような 能力 学んだ
 並没聽見酒後那樣學了本事 (下 62b6)
- 99-21 erdemu nonggibuha.
 才芸 上達した
 長了技藝 (下 62b6-7)
- 99-22 niyalma de kundulebuhe.
 人 に 敬われた
 教人恭敬 (下 62b7)

- 99-23 jingkini baita be mutebuhengge be fuhali donjiha ba akū.
正しい 事 を 成就させたこと を 全く 聞いた 所 ない
成了正經事情的 (下 62b7-63a1)
- 99-24 yala banin be facuhūrara beyebe kokirabure ehe okto kai.
誠に 気性を 乱す 体を 傷つける 悪い 薬 だぞ
寔在是亂性傷心的毒藥啊 (下 63a1-2)
- 99-25 cingkai omici ombio.
ひたすら 飲んで よいか
只管喝使得嗎 (下 63a2)
- 99-26 akdarakū oci.
信じない ならば
若不信 (下 63a2)
- 99-27 si bulekušeme tuwa.
君 鏡に映して 見よ
你照鏡子看 (下 63a2-3)
- 99-28 oforo gemu ibtenehebi.
鼻 みな 朽ちている
鼻子全糟了 (下 63a3)
- 99-29 ubu waliyabure niyalma waka kai .
職分 捨てさせる 人 でない ぞ
不是撈分兒的人啊 (下 63a3)
- 99-30 ineggi dobori akū uttu bešeme omici.
昼 夜 なく このように しこたま 飲めば
不分晝夜往糟裡喝 (下 63a3-4)
- 99-31 beye beyebe hūdularangge wakao.
自分 自身を 急ぐこと でないか
不是自己催自己呢嗎 (下 63a4)

<第100話>

- 100-1* age si tuwa.
兄君 見よ
阿哥你看 (下 63a5)
- 100-2 ai jui geli bini.
どんな 子供 また いるか
什麼孩子也有呢 (下 63a5)

- 100-3 niyalma uttu tuttu seme inde jomburengge.
 人 こうだ ああだ と 彼に 提言すること
 人家 這們 那們 提白 他 (下 63a5-6)
- 100-4 ineku imbe sain okini.
 同じく 彼を 良く すればよい
 也是 教他 好 (下 63a6)
- 100-5 ehe tacirakū sere gūnin kai.
 悪 学ばない という 考え だぞ
 怕學 不好的 意思 (下 63a7)
- 100-6 hūlahā bithe be majige urebuci.
 読んだ 本 を 少し 復習すれば
 把念 過的 書 温習 (下 63a7-63b1)
- 100-7 bahanarahū sembio.
 分かればよいが と思うか
 怕會 了嗎 (下 63b1)
- 100-8 jingkini bengsen be tacirede umesi mangga.
 正しい 能力 を 学ぶのに 大変 難しい
 學正 經本 事 狠難 (下 63b1-2)
- 100-9 ehe demun inde nokai ja.
 悪い 習慣 彼に 非常に 容易だ
 壞習 氣於 他 狠容易 (下 63b2)
- 100-10 ai hacin i angga hūwajatala gisurehe seme.
 どんなに 口 破れるまで 話した としても
 任憑 怎 広 說 破 了 嘴 (下 63b2-3)
- 100-11 i donjici ai baire.
 彼が 聞けば 何 求める
 他若 肯聽 可說 什 広 呢 (下 63b3)
- 100-12 nememe ebi habi akū angga mongniohon i dere yasa waliyatambi.
 反対に 元氣 なく 口 無言 で 面目 捨てる
 反倒 無精 打彩 的 擲着 嘴 擱臉子 (下 63b3-4)
- 100-13 tede bi tuwahai dolo dosorakū.
 それで 私 見たまま 心 耐えられず
 因此 我 狠看 不過 (下 63b5)
- 100-14 fancafi hiyang seme emgeri esukiyere jakade.
 怒って こらっ と 一度 怒鳴る ので
 生了 氣 大聲 的 吆喝 一聲 (下 63b5-6)

- 100-15 dere fulara nakū.
 顔 赤くなる や否や
 把臉一紅(下 63b6)
- 100-16 fudarame mini baru.
 反対に 私に 向かって
 倒望着我說(下 63b6-7)
- 100-17 si minbe cihalafi ainambi seme.
 君 私を あら探しして どうなる と
 你尋趁我作什広呢(下 63b7)
- 100-18 yasa muke gelerjembī.
 眼 涙 あふれる
 眼淚汪汪的(下 63b7)
- 100-19 ai.
 ああ
 哎(下 64a1)
- 100-20 hūlhi kesi akū dabala.
 愚者 運 ない だけだ
 糊塗没造化罷咧(下 64a1)
- 100-21 hendure balame.
 言うこと だが
 可是說的(下 64a1)
- 100-22 sain okto angga de gosihon.
 良い 薬 口 に 苦い
 良藥苦口(下 64a1-2)
- 100-23 tondo gisun šan de icakū sehebi.
 誠実な 言葉 耳 に 障る と言っている
 忠言逆耳啊(下 64a2-3)
- 100-24 aika giranggi yali waka oci.
 もしも 骨 肉 でない ならば
 要不是骨肉(下 64a3)
- 100-25 bi damu ainame hoššome urgunjebuci wajiha kai.
 私 ただ 適当に だまして 喜ばせれば 終わり だぞ
 我只可哄着教他喜歡就完了(下 64a3-4)
- 100-26 urunakū inde eimeburengge ai hala..
 必ず 彼に 嫌われること 何の 苦しみ
 必定教他厭煩是何苦來(下 64a4-5)

<刊記>

saicungga fengšen i orin ilaci aniya ninggun biyade tuwancihiyame dasafi
嘉慶の二十三年六月に校正し
dasame foloho.

重刊した

undehen be si an i jiyanggiyūn yamun de asarahabi. (下 64b1-3)

板を西安の將軍衙門に蔵している

嘉慶二十三年六月校正重刊板存西安將軍署内
(下 64b4-5)

manju gisun i oyonggo jorin i bithe. fejergi debtelin.

満洲語の重要な指示の書 下 卷

清文指要 卷下 (下 65b6)

doron bai gūsai da ts'unfu. nirui janggin jaogiyūn. dahūri se

印房の旗の長 存福 ニルの章京 兆俊 塔瑚禮 達

bithei tukiyesi uksin hūsumbu. debu. fumingga. gabsihiyan

文の 舉人 馬甲 瑚遜布 徳布 富明阿 前鋒

kiru hūwašabu sebe gaifi uhei acabume tuwaha.

小旗 花沙布 達を率い 共に 校 閲した

araha funde bošokū jurgangga. uksin ciowande. bajišan. dalingga.

命じた 驍騎 校 珠爾杭阿 馬甲 全徳 班吉善 塔靈阿

befu. dursungga. kemungge. tuwabungga. demingboo.

伯福 都爾松阿 克蒙額 圖瓦綱阿 徳明保

ubungge. uyuntai ginggulere hergen araha.

武綱額 烏雲泰 楷 書 書いた

silgasi uksin šucingga. bithei šusai gabsihiyan jakūnju.

貢生 馬甲 舒清阿 文の 秀才 前鋒 札坤珠

gabsihiyan kobtonggo. uksin sertungge nikan hergen araha.

前鋒 科布通武 馬甲 色爾通額 漢 字 書いた

araha gabsihiyan i juwan i da aisimbu tuwame undehen foloho. (下 65a1-9)

命じた 前鋒 の 軍 の 長 愛仁布 監視し 板 刻した

印房協領存福 佐領兆俊 塔瑚禮率同

舉人馬甲瑚遜布 徳布 富明阿

前鋒小旗花沙布 校閲

委驍騎校珠爾杭阿 馬甲全徳 班吉善

塔靈阿 伯福 都爾松阿
克蒙額 圖瓦綳阿 德明保
武綳額 烏雲泰 書寫清字
貢生馬甲舒清阿 文生員前鋒札坤珠
前鋒科布通武 馬甲色爾通額 書寫漢字
委前鋒校愛仁布監視刊刻（下 65b1-10）

<あとがき>

2012年の4月より2年余りにわたって連載してきた『新刊清文指要』の翻字と翻訳は、今回をもって終わる。東京都立大学の大学院生時代に落合守和先生の演習で出逢って以来、自らの課題としてきた『清文指要』全100話の翻字・翻訳を完遂したことにそれなりの感慨はあるが、まずは早い機会に全体を見直して相応の修正を加え、満洲語と中国語の語彙索引を付した上で、読者の利用に供することができればと考えている。その後には、原刊本系統の『清文指要』及びその満洲語の来源である『一百条 Tanggū Meyen』との異同を逐一記した校本の作成が控えている。

なお、連載中の2013年12月には原刊・新刊両系統の『清文指要』を始めとする『一百条』系諸本の漢字部分を対照させた張美蘭・劉曼『《清文指要》匯校與語言研究』（上海教育出版社）が出版され、この文献群をめぐる参照の便は飛躍的に高まった。ただ、筆者は清代満漢合璧会話書の研究にあつては、たとえその中国語を分析する場合であっても満洲語からのアプローチは欠かせないという立場であり、今後もそのスタンスで満漢文献の研究に取り組んでいきたいと思う。